

○琴丘支所・山本支所

日 程	令和4年3月9日（水）
会 場	議長室
開 会	午前9時00分～午前9時50分
出席委員	伊藤千作（委員長）、清水欣也（副委員長）、 工藤秀明、安藤賢藏、金子芳継
欠席委員	なし
説 明 員	琴丘：渡邊支所長、渡辺補佐、岡本係長 山本：皆川支所長、石井補佐、湊係長

No.	質疑応答の概要
	○琴丘支所
1	P25 1台あたりの自動販売機設置料は同じか。電気料はどうか。 答 設置料は同じで、電気料はその自動販売機による。
2	P25 世代間交流室（小夢）の令和4年度使用料は、令和3年度と比べてどうか。 答 同額である。
3	P25 上岩川生活改善センターの老朽化について、センターを解体し、旧上岩川小学校をセンターとして利用した方が合理的ではないか。 答 旧上小も建物自体が古く、代替えは厳しい状況である。地域の方はセンターの建て替えを望んでおり、継続して協議を進めていく。
4	P37 農協畜産施設敷地料とあるが、これはどういったものか。 答 猿田から上砂子沢に抜ける道路の途中にある土地を農協に貸しているもので、堆肥場として使用されている。
5	P63 旧上小校舎利活用協議会運営費補助金・事業費補助金とはどういったものか。また、令和4年度予算額は令和3年度と比較してどうか。 答 旧上小の管理運営・活動に関する補助金であり、予算額は同額である。
6	P63 旧上小の利用者は。 答 旧上小校舎利活用協議会や地域住民が、主に図書館を利用しているほか、ふれあいバスの拠点施設としてや、マレットゴルフの会場としても利用している。
7	P99 ひまわりセンターの事業が色々と縮小して来ている中、現在は一時休止状態となっている入浴について、廃止すべきという意見はでていないか。 答 監査委員からも在り方を指摘されており、町長ほか関係各課と協議を重ねている状況である。
8	P99 ひまわりセンターの浴室の故障の原因は。 答 漏水が原因であるが、その漏水箇所について特定する調査を今行っているところである。
	○山本支所
9	P69 草刈り、伐倒の業務委託は、公募して契約しているのか。

No.	質疑応答の概要
	答 3年に1回一斉公募しており、次の公募までの期間は、継続希望の意向を確認し契約を結んでいる。
1 0	P73 庁用車維持管理費にミニローダーとあるが、所有か、借上げか。
	答 支所で所有している。
1 1	P151 惣三郎沼公園管理費に委託料とあるが、委託先は。
	答 3年に1回の公募により、個人に委託している。

○総務課（選挙管理委員会事務局）

日 程	令和4年3月9日（水）
会 場	議長室
開 会	午前10時00分～午前10時50分
出席委員	伊藤千作（委員長）、清水欣也（副委員長）、 工藤秀明、安藤賢藏、金子芳継
欠席委員	なし
説 明 員	石井課長、三浦補佐、後藤補佐、石井係長、川村係長、田中主席主査
No.	質疑応答の概要
1 2	P06 公債費は約12億円あるが、プライマリーバランスでは赤字なのか黒字なのか、予算ベースで計算したことがあるか。 [答] 決算では行っているが、予算ベースでは行っていない。
1 3	P37 風力発電施設を建設した場合、固定資産税以外に財産収入も発生しているのか。 [答] 町有地に建設した場合は、財産貸付料が発生する。
1 4	P38 繰越金が予算計上される時期は。 [答] 9月定例会の決算報告に合わせて補正計上している。
1 5	P39 財政調整基金は、いくらまで積み立てるのか。 [答] 今後、広域ゴミ処理施設建設費負担金、学校再編による建設工事等の負担増が見込まれるため、残高は減少していくと考えている。また、温泉活性化事業等の町単独事業が始まった場合、さらに基金の取り崩しが必要になってくると考えている。
1 6	P39 財政調整基金について、今後の大きな支出と考えられるのは広域ゴミ処理施設建設費負担金と思うが、支出見込は。また、起債はないのか。 [答] 令和7年度までに17億9,600万円の支出が見込まれており、過疎債の充当を予定しているが、起債対象外分は基金で対応することとなる。
1 7	P39 財政調整基金について、学校の統合事業については合併特例債を活用するため、使用しないということか。 [答] 中学校は合併特例債の充当を想定しているが、小学校は令和8年度完成となるため合併特例債は使えず、過疎債で試算している。起債対象外分については、基金を充当することとなる。
1 8	P39 約40億円の財政調整基金について、この4、5年間でどれだけ減るのか。 [答] 令和11年度末で、30億6千万円程度になると試算している。
1 9	P47 広域一般廃棄物処理施設整備事業とあるが、これは広域の新しいゴミ処理場のことか。 [答] そのとおりである。
2 0	P49 学校教育施設等整備事業債は、山本中学校法面補修事業の設計料のことか。また、工事費が予算計上される時期は。

No.	質疑応答の概要
	〔答〕 そのとおりである。令和４年度の調査設計で工法や概算事業費が算出されるため、令和５年度の工事になると思われる。
２１	P71 行政連絡員のなり手があまりいないと聞いているが、現状は。 〔答〕 なり手不足は４、５年前から確認されており、負担を少なくするため募金の集金を廃止するなどの措置を講じてきた。総務課では、シルバー委託やダイレクトメールなども検討したが、結論には至らなかった。４月からは所管替えとなるが、企画政策課においても検討を継続することとしている。
２２	P73 総務課で管理しているバスは何台か。 〔答〕 ２台である。
２３	P73 それ以外のバスや公用車は各課で車検等をとっているのか。また、車検に出す業者に偏りはないか。 〔答〕 そのとおりである。車検は、本庁は八竜地域の業者に、支所はそれぞれの地域の業者に依頼している。
２４	P83 選挙執行経費の財源は。 〔答〕 町以外の選挙については、全て国・県の交付金である。ただし、備品購入については、５／９の交付となっている。

○税務課

日 程	令和４年３月９日（水）
会 場	議長室
開 会	午前１１時００分～午前１１時３０分
出席委員	伊藤千作（委員長）、清水欣也（副委員長）、 工藤秀明、安藤賢藏、金子芳継
欠席委員	なし
説 明 員	小松課長、成田補佐
No.	質疑応答の概要
２５	P16 個人町民税の納税者数は。 [答] 令和３年実績で９，５９３人である。予算も概ね同水準により推計している。
２６	P16 均等割と所得割の人数は。 [答] 均等割が７，２３６人で、所得割が６，１５１人である。
２７	P16 所得割の４６１，５１９千円というのは、総所得ではなく課税標準額に税率を 掛けて算出した額という認識でよいのか。 [答] そのとおりである。
２８	P16 たばこ税が若干増えているが、その理由は。 [答] 消費されるたばこの本数は減っているが、税率が上がっているためである。
２９	P18 入湯税は令和３年度に比べてどうなっているか。 [答] 令和３年度に比べ１２％の減少としており、さらにコロナの影響が加わると見 込んでいる。
３０	P81 標準宅地鑑定評価委託料として見込まれる額はいくらか。 [答] ４，８４３千円である。
３１	P81 不動産鑑定士は秋田市の業者か。 [答] ３年毎の評価替えに伴う業務委託であり、前回の令和元年度は秋田市の業者と 契約している。令和４年度も入札によって決定する。

○会計課

日 程	令和4年3月9日（水）
会 場	議長室
開 会	午後1時00分～午後1時10分
出席委員	伊藤千作（委員長）、清水欣也（副委員長）、 工藤秀明、安藤賢藏、金子芳継
欠席委員	なし
説 明 員	平澤課長、国塚補佐
No.	質疑応答の概要
3 2	P61 小切手の印刷代120千円あるが何冊分を予定しているか。 答 一束100枚あるが、十束を予定している。
3 3	P61 100枚の十束ということは、1,000枚分も発行しているということか。 答 まとめて購入すると単価が安いため、3年分程度をまとめて購入している。
3 4	P61 振込組戻手数料とは何か。 答 本人が振込依頼書の口座名や口座番号を間違って記入する場合があります、その訂正後に再振込みをするための手数料である。

○議会事務局（監査委員事務局）

日 程	令和４年３月９日（水）
会 場	議長室
開 会	午後１時１０分～午後１時２０分
出席委員	伊藤千作（委員長）、清水欣也（副委員長）、 工藤秀明、安藤賢藏、金子芳継
欠席委員	なし
説 明 員	後藤事務局長
No.	質疑応答の概要
３５	P87 例月出納検査に伴う伝票確認の所要日数は。 [答] １日である。
３６	P87 １日で十分か。どの程度深堀りされているか。 [答] 職員のミスが大幅に減っていることもあり、中身についても十分に確認されている。
３７	P87 監査には課長等の説明員はいるのか。 [答] 監査委員が疑問に思った事項については、事務局職員が担当課に問い合わせして監査委員に説明を行う。説明が難しいケースについては、担当課から説明をさせているが、それが納得のいく説明でなかった場合は、次回の例月出納検査に併せて随時監査を行うこととしている。

○企画政策課

日 程	令和4年3月9日（水）
会 場	議長室
開 会	午後1時30分～午後2時30分
出席委員	伊藤千作（委員長）、清水欣也（副委員長）、 工藤秀明、安藤賢藏、金子芳継
欠席委員	なし
説 明 員	工藤課長、加藤補佐、西村補佐、伊藤係長、大村係長
No.	質疑応答の概要
3 8	P43 男女共同参画について、日本は先進国の中でも遅れている。民間でも推進しやすくするために、役場が率先して進めてはいかがか。 〔答〕 今回の計画において行政分野での率先した取り組みを進めて行くことを確認している。
3 9	P75 ふるさと納税について、寄付金は特定財源ではないのか。 〔答〕 寄付金は一旦、基金に入れるため特定財源にはならない。なお、ふるさと納税は寄付時にこういった事業に使ってほしいという寄付者の意向を確認しており、それを元に各事業に振り分けている。
4 0	P75 定住対策では、何人が転入し、居住してくれているか。 〔答〕 移住定住という括りではなく、転入者は年200人から300人程度いる。
4 1	P75 三種町に腰を据えるつもりで転入した人の数字は把握しているか。 〔答〕 把握できていない。
4 2	P75 結婚支援事業の事業内容は。 〔答〕 お寺の境内やホテル、アウトドア等で、マッチングのイベントを行っている。
4 3	P75 三種ふるさと便事業における、256人の根拠は。 〔答〕 三種町の学校を卒業して町外で生活している学生の人数は把握できていないため、コロナ支援で実施した学生支援給付金事業の申請実績などから算出している。
4 4	P75 三種ふるさと便事業を学生に限定しているが、それでは片手落ちではないか。 〔答〕 就職して県外に住んでいる人の場合は、なかなか町に戻ってくるきっかけがつかめないだろうという考えがあり、また、人数的にもかなりの数になることから、令和4年度は現役の学生を対象として事業を行いたい。今後、いろいろな意見を参考に、事業の見直しを検討していきたい。
4 5	P77 住宅取得補助事業の利用状況はどうなっているか。 〔答〕 令和4年3月9日現在で、新築住宅が22戸、中古住宅が3戸である。
4 6	P77 現在は新築120万円、中古50万円が補助額の上限となっているが、今後、子供の数などを勘案して補助額を引き上げるなどすれば、さらに多くの人が利用するのではないか。 〔答〕 現行は、三種町に家を建築し定住を考えるきっかけとなる制度と考えている。

上記会議の次第を記載し、その相違ないことを証明するためにここに署名する。

予算特別委員会総務分科会委員長 伊 藤 千 作

